



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月6日

上場会社名 久光製薬株式会社 上場取引所 東 名 福
 コード番号 4530 URL <http://www.hisamitsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中富 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 高尾 信一郎 (TEL) 03-5293-1714
 四半期報告書提出予定日 平成23年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績 (平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	102,584	4.3	22,340	△10.7	26,029	△0.3	16,669	3.5
22年2月期第3四半期	98,378	—	25,010	—	26,100	—	16,099	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	192 34	—
22年2月期第3四半期	183 67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	193,017	137,241	70.6	1,572 19
22年2月期	193,551	130,976	67.2	1,500 92

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 136,262百万円 22年2月期 130,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	34 00	—	34 00	68 00
23年2月期	—	35 00	—	—	—
23年2月期(予想)	—	—	—	35 00	70 00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想 (平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,000	10.9	27,500	△3.8	32,500	4.1	20,200	9.6	233 07

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年2月期3Q	95,164,895株	22年2月期	95,164,895株
23年2月期3Q	8,494,249株	22年2月期	8,493,446株
23年2月期3Q	86,671,009株	22年2月期3Q	87,656,281株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・当資料のうち、将来の見通し及び計画に基づく予測には、不確実な要素が含まれ、変動する可能性があります。従って、実際の業績は現時点での当社の判断に対して異なる可能性もあります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	6
【第3四半期連結会計期間】	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

<売上高>

当第3四半期までの売上高は前年同四半期比4.3%増の1,025億8千4百万円となりました。

国内市場において、医療用医薬品事業は主力製品のケトプロフェン含有経皮吸収パッチ剤「モーラステープ®」が堅調に推移し、6月には、協和発酵キリン(株)と共同で経皮吸収型持続性がん疼痛治療剤「フェントス®テープ」の販売を開始しましたが、薬価改定の影響もあり、前年同四半期比0.5%の減収となりました。一般用医薬品事業は、依然としてOTC市場の低迷と厳しい販売競争が続くなか、新商品として「エアー®サロンパス®ジェットα」等を発売しましたが、「サロンパス®」をはじめとする主力ブランドの売上が前年同四半期を下回り、前年同四半期比12.4%の減収となりました。

一方、海外市場においては、昨年8月に買収したノーベンファーマシューティカルズ社(以下、ノーベン社)が期初より売上に貢献することとなり、増収となりました。

このような結果、「医薬品及び関連製品事業」の売上高は前年同四半期比3.4%の増収となりました。

<利益>

当第3四半期までの営業利益は223億4千万円(前年同四半期比10.7%減)で減益となりました。その主な要因は、薬価改定及びノーベン社を連結子会社に加えたことによる売上原価率の上昇や研究開発費の増加などによるものです。

当第3四半期までの経常利益は260億2千9百万円(前年同四半期比0.3%減)で減益となりました。その主な要因は、持分法による投資利益の増加を上回る営業利益の減少などによるものです。

当第3四半期までの四半期純利益は166億6千9百万円(前年同四半期比3.5%増)で増益となりました。その主な要因は、特別利益として販売権許諾料を計上したことなどによるものです。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

<資産、負債、純資産の状況>

当第3四半期末の総資産は前連結会計年度末と比較して5億3千3百万円減少し、1,930億1千7百万円となりました。主な増減は受取手形及び売掛金(54億6百万円減)や有価証券(58億3千9百万円増)などによるものです。

当第3四半期末の負債合計は前連結会計年度末と比較して67億9千8百万円減少し、557億7千6百万円となりました。主な減少は短期借入金(42億5千9百万円減)や長期借入金(26億2百万円減)の返済などによるものです。

当第3四半期末の純資産合計は前連結会計年度末と比較して62億6千4百万円増加し、1,372億4千1百万円となりました。主な増減は、利益剰余金(106億8千6百万円増)や為替換算調整勘定(39億4千5百万円減)などによるものです。

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて59億5千7百万円増加し、321億8千9百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは262億9千6百万円の収入(前年同四半期は118億4千6百万円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益290億2千3百万円や売上債権の減少額52億4百万円、利息及び配当金受取額43億3千5百万円、法人税等の支払額118億5千1百万円などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは66億9千9百万円の支出(前年同四半期は313億1千万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出45億8千6百万円や投資有価証券の取得による支出18億3千万円などによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは129億2千2百万円の支出(前年同四半期は146億8千4百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入金の減少額44億5千万円や長期借入金の返済額26億8千万円、配当金の支払額59億1千5百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

前回発表時(平成22年4月8日)の予想を変更していません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっています。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっています。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められない場合には、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっています。

④ 税金費用の算定方法

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しています。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,574	26,935
受取手形及び売掛金	36,917	42,324
有価証券	5,839	—
商品及び製品	7,337	7,279
仕掛品	434	481
原材料及び貯蔵品	4,551	4,511
その他	8,667	4,835
貸倒引当金	△244	△267
流動資産合計	91,077	86,100
固定資産		
有形固定資産	44,542	46,218
無形固定資産		
のれん	6,634	7,902
その他	6,851	7,853
無形固定資産合計	13,486	15,756
投資その他の資産		
投資有価証券	30,501	31,979
その他	13,541	13,636
貸倒引当金	△132	△140
投資その他の資産合計	43,910	45,475
固定資産合計	101,939	107,450
資産合計	193,017	193,551

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,342	14,669
短期借入金	6,224	10,484
未払法人税等	5,514	4,878
返品調整引当金	183	237
賞与引当金	740	1,381
その他	13,821	11,173
流動負債合計	38,827	42,825
固定負債		
長期借入金	5,539	8,142
退職給付引当金	4,883	4,716
役員退職慰労引当金	1,194	1,174
その他	5,331	5,715
固定負債合計	16,948	19,749
負債合計	55,776	62,574
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,473	8,473
資本剰余金	8,396	8,396
利益剰余金	142,985	132,298
自己株式	△18,523	△18,521
株主資本合計	141,331	130,647
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,344	△780
土地再評価差額金	3,189	3,188
為替換算調整勘定	△6,914	△2,968
評価・換算差額等合計	△5,069	△560
少数株主持分	978	889
純資産合計	137,241	130,976
負債純資産合計	193,017	193,551

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	98,378	102,584
売上原価	31,581	35,170
売上総利益	66,797	67,414
販売費及び一般管理費	41,786	45,073
営業利益	25,010	22,340
営業外収益		
受取利息	75	43
受取配当金	183	312
受取ロイヤリティー	157	107
持分法による投資利益	660	3,206
その他	302	245
営業外収益合計	1,378	3,915
営業外費用		
支払利息	60	92
為替差損	161	62
売上債権売却損	23	17
その他	44	54
営業外費用合計	289	226
経常利益	26,100	26,029
特別利益		
国庫補助金	310	18
受取研究開発負担金	710	—
販売権許諾料	—	3,000
その他	296	53
特別利益合計	1,316	3,072
特別損失		
固定資産処分損	—	53
固定資産圧縮損	294	9
その他	74	14
特別損失合計	368	77
税金等調整前四半期純利益	27,048	29,023
法人税等	10,868	12,140
少数株主利益	80	213
四半期純利益	16,099	16,669

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	33,576	31,504
売上原価	10,821	10,757
売上総利益	22,754	20,747
販売費及び一般管理費	13,336	14,175
営業利益	9,418	6,571
営業外収益		
受取利息	5	14
受取配当金	26	114
受取ロイヤリティー	45	37
為替差益	—	28
持分法による投資利益	611	1,359
その他	73	75
営業外収益合計	762	1,629
営業外費用		
支払利息	42	24
為替差損	85	—
売上債権売却損	7	5
その他	21	17
営業外費用合計	157	47
経常利益	10,023	8,153
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	24
受取研究開発負担金	710	—
開発権譲渡益	225	—
その他	46	0
特別利益合計	982	24
特別損失		
固定資産処分損	9	26
投資有価証券評価損	—	14
特別損失合計	9	41
税金等調整前四半期純利益	10,996	8,136
法人税等	4,431	3,434
少数株主利益	33	35
四半期純利益	6,530	4,667

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,048	29,023
減価償却費	3,524	4,700
のれん償却額	1,599	595
退職給付引当金の増減額(△は減少)	114	170
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△26
受取利息及び受取配当金	△259	△356
支払利息	60	92
持分法による投資損益(△は益)	△660	△3,206
売上債権の増減額(△は増加)	768	5,204
たな卸資産の増減額(△は増加)	△451	△265
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,101	△2,195
その他	△3,370	166
小計	27,254	33,903
利息及び配当金の受取額	1,648	4,335
利息の支払額	△60	△91
法人税等の支払額	△16,996	△11,851
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,846	26,296
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△5,531	△4,586
有価証券の取得による支出	△3,002	—
有価証券の売却及び償還による収入	6,330	—
投資有価証券の取得による支出	△1,882	△1,830
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△33,307	—
その他	6,083	△282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△31,310	△6,699
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	8,990	△4,450
長期借入れによる収入	15,000	297
長期借入金の返済による支出	△210	△2,680
少数株主からの払込みによる収入	—	2
少数株主への配当金の支払額	△37	△114
自己株式の取得による支出	△3,331	△2
配当金の支払額	△5,700	△5,915
その他	△25	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,684	△12,922
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58	△716
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,838	5,957
現金及び現金同等物の期首残高	33,356	26,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,518	32,189

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

当社及び連結子会社の事業区分は、製品の種類、性質等の類似性を考慮し、「医薬品及び関連製品事業」、「有線テレビ放送事業」及びこれらに属さない「その他の事業」に分類しています。全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める「医薬品及び関連製品事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

当社及び連結子会社の事業区分は、製品の種類、性質等の類似性を考慮し、「医薬品及び関連製品事業」、「有線テレビ放送事業」及びこれらに属さない「その他の事業」に分類しています。全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める「医薬品及び関連製品事業」の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

全セグメントの売上高の合計額に占める本国の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計(百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結(百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	92,452	7,186	2,945	102,584	—	102,584
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,119	305	165	1,590	△1,590	—
計	93,572	7,492	3,110	104,175	△1,590	102,584
営業利益又は営業損失(△)	25,456	△3,400	164	22,220	119	22,340

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) その他の地域……ブラジル、ベトナム、インドネシア等

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、その記載を省略しています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)

	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	7,147	4,540	11,687
II 連結売上高(百万円)	—	—	102,584
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.0	4.4	11.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっています。

2 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………アメリカ

(2) その他の地域……ブラジル、ベトナム、インドネシア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高です。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。